

# 2013年度日本法哲学学会学術大会統一テーマ

## 民事裁判における「暗黙知」 —「法的三段論法」再考—

日時 2013年11月17日（日） 9:30～17:40

会場 駒澤大学 駒沢キャンパス 1号館 301教場

受付 記念講堂ロビー

地図 [http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/campus/c\\_komazawa](http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/campus/c_komazawa)

### 第1部

企画趣旨説明 高橋 文彦（明治学院大学）

#### テーマ1：「大前提」形成過程における「暗黙知」

亀本 洋（京都大学） 「法を事実に当てはめるのか、事実を法に当てはめるのか」

瀬川 信久（早稲田大学） 「民事裁判における法的三段論法の限界と展望

超過利息の判例を素材に」

村田 渉（司法研修所教官） 「民事裁判における法規範の選択と形成の手法」

#### テーマ2：「小前提」形成過程における「暗黙知」

嶋津 格（千葉大学） 「民事事件における事実の認定」

中村 多美子（弁護士） 「弁護士からみた事実」

手嶋 あさみ（前東京地裁判事、最高裁事務総局） 「民事裁判における事実認定の構造」

### 総括コメント

加藤 新太郎（東京高裁判事） 「事実認定と法解釈・法適用」

田中 成明（京都大学名誉教授）

### 第2部 シンポジウム

司会 高橋 文彦（明治学院大学）・山田 八千子（中央大学）



聴講料：1,000円（当日配布資料代を含む） 1,000円の聴講料で、前日11月16日（土）の大会にもご参加いただけます。  
詳細は、日本法哲学学会ホームページ<http://www.houtetsugaku.org/congress/index.html>を御覧下さい。